沖縄県立図書館通信

第31号　平成21年12月発行

電話番号　０９８－８３４－１２１８
〒902-0064　沖縄県那覇市寄宮1-2-16
Eメール：houshi@library.pref.okinawa.jp

平成21年度 沖縄県公共図書館連絡協議会 研修会（八重山地区）　報告

☆ 平成21年11月24日～25日に石垣市立図書館でみだしの研修会が開催されました。

☆ 1日目は図書館情報大学名誉教授　竹内　悊氏の基調講演「公共・学校図書館の無限なる可能性を求めて！」、県立図書館八重山分館と石垣市立図書館の事例報告が行われ、2日目には視察研修が行われました。

☆ 本協議会では6地区持ち回りで研修会を開催していますが、今回の八重山地区での開催は、地域での取り組みを知り、各地区との交流をはかる上で大きな成果がありました。

古い映写機を使い映像資料の説明をする石垣市立図書館・大濱氏

☆ 今年度は離島での開催であったにも関わらず、地元だけでなく、本島からもたくさんの図書館関係者の参加がありました。基調講演、事例報告をもとにそれぞれの図書館でよりよい図書館作りに活用して頂ける、いい研修になったのではないかと思います。

図書館の可能性を熱く語っていただいた竹内氏

～事例報告を終えて～　（沖縄県立図書館八重山分館　照屋　潔）

今回の研修会では「八重山圏域の公共図書館未設置町への図書館サービスについて～移動図書館による読書活動支援～」を演題に、当館が実施している移動図書館の取り組みを報告いたしました。移動図書館とは県立図書館の職員が公共図書館がない竹富町及び与那国町に出向き出張貸出を行うもので、現在は西表島の東部、西部、与那国島の3カ所で各地年1回開催しています。

この報告の数週間前、資料を作成するために過去に開催された移動図書館の写真を見ると、どの写真にも熱心に本を選んでいる小学生や幼児を連れた母親の姿が映っていました。それはまさに図書を提供することで情報や知識を提供する図書館そのものの風景でした。

研修会では他にも石垣市立図書館の郷土映像ＤＶＤ製作の取り組みの報告や、「図書館には人類の記録が集まっている」と図書館の無限の可能性を話した竹内悊氏の基調講演がありました。

研修会に参加して図書館の様々な役割を再認識するとともに、図書館で働ける喜びを感じました。

移動図書館について事例報告する八重山分館・照屋主任

読書週間関連行事「としょかんまつり・・・第2回 図書館セミナー」

新鮮 若い感性に拍手!!

読書週間（10月27日～11月9日）関連行事として「としょかんまつり」が開催されました。いくつかのイベントを組み合わせて、「子ども読書の推進」を主軸に、図書館に足を運んでもらいながら読書に関心を持っていただいて読書週間を楽しんでもらおうというねらいで行われました。

その一つとして、平成21年度山之口貘賞を受賞したトーマ・ヒロコ氏に「子どものわたしは、こんなふうに本を読んでいた」と題して、子どもの頃の読書体験をはじめとして詩作へのつながりなどを話していただきました。子どもの頃の思い出の絵本の読み聞かせや思春期に影響を受けた詩の朗読、青年期に心揺れた小説の読み語りと多様な読みで参加者を文化の香りで魅了しました。

参加された方々の感想とトーマ・ヒロコ氏の講演で紹介された本のリストを掲載します。ご参考下さい。

☆『わたしのワンピース』
　作：にしまきかやこ/こぐま社
☆『どろんこおそうじ』
　作：さとうわきこ/福音館書店
☆『すいかのたね』
　作：さとうわきこ/福音館書店
☆『はしれきたかぜ号』
　作：渡辺謙一/童心社
☆『王さまばんざい』
　作：寺村輝夫/理論社
☆『おんなのことば』
　作：茨木のり子/童話屋
☆『ホリーガーデン』
　作：江國香織/新潮社
☆『センセイの鞄』
　作：川上弘美/平凡社
☆『おめでとう』
　作：川上弘美/新潮社
☆『山之口貘詩文集』
　作：山之口貘/講談社

- 沖縄の若い詩人に出会え、新しい文芸界の展開が感じられた。高校生にも聴かせたい講演でしたね。（50代女性）
- トーマ・ヒロコさんの読み聞かせを交えた読書語りを楽しく拝聴しました。「としょかんまつり」と一緒に開催したことは、一度に2つ3つの学びに出会えてラッキーでした。良い企画です。できればもっと参加者があればと思います。（50代女性）
- トーマ・ヒロコさんのユーモアの混じったセミナーは楽しかったです。セミナーの中で紹介された本を読んでみたいと思っています。（30代女性）
- 若い詩人の読書体験を通しての講話を興味深く聞かせていただきました。幼児期の読み聞かせ、「父親のチラシ帳面」は何とも微笑ましく、我が家でも娘の独り言を父親が記録していたっけ・・・。これからも益々すてきな作品を生み出して下さい。トーマさんに拍手を送ります。（60代女性）
- 「としょかんまつり」の中に「図書館セミナー」があるのはGoodですね。関連行事も見ることができ、満足です。（40代女性）

✿　「読み聞かせ」を交えて話すトーマ・ヒロコ氏

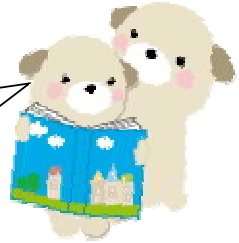
☆☆☆　Bookリサイクル　☆☆☆

いい本を次の読み手に?!

「としょかんまつり」の一環で行われた「Bookリサイクル」への絵本等のご提供ありがとうございました。絵本をはじめ子育て関連の一般書、また『おきなわのわらべうた』や教育委員会配布物など約600冊程の本やパンフレットがリサイクルとして提供されました。特に、絵本や一般書はすべてお持ち帰りいただき、いい本のリサイクルをすることができました。

「いい本をつぎの読み手に」の思いで、次回の企画をしたいと思います。
多くの方の提供を待っています。

提供本の冊数
　一般書　　22冊
　絵　本　　50冊



新着図書　紹介

一般図書

JR全車輌ハンドブック　2009	
筆談ホステス	斉藤　里恵 ‖ 著
行正り香の2皿ディナー	行正　り香 ‖ 著
ある広告人の告白	デイヴィッド・オグルヴィ ‖ 著
生きたい！！	池田　真一 ‖ 著
現代の食料・農業問題	鈴木　宣弘 ‖ 著
人はふさわしい死を死ぬ	R．ライト・キャンベル ‖ 著
翔子、地域の学校に生きる！	菊地　絵里子 ‖ 著
死ぬのによい日だ	日本エッセイスト・クラブ ‖ 編
向田邦子全集　5	向田　邦子 ‖ 著
家じかんを楽しむ65のヒント	伊能勢　敦子 ‖ 著
日米核密約	不破　哲三 ‖ 著
レジ待ちの行列、進むのが早いのはどちらか	内藤　誼人 ‖ 著
君のためなら千回でも	カーレド・ホッセイニ ‖ 著
からだの取扱説明書（トリセツ）	呉　清忠 ‖ 著
社会分析	金子　勇 ‖ 著
やくみつるの平成ポテンショット	やく　みつる ‖ 著
ラミ流	アレックス・ラミレス ‖ 著
投資戦略の発想法　2010	木村　剛 ‖ 著
民主党が約束する99の政策で日本はどう変わるか？	神保　哲生 ‖ 著
作家と戦争	森　史朗 ‖ 著
昭和二十年夏、僕は兵士だった	梯　久美子 ‖ 著
ころころろ	畠中　恵 ‖ 著
倒壊する巨塔　上.下	ローレンス・ライト ‖ 著
ごあいさつカードの手づくりレシピ	上原　かなえ ‖ 著
子育ての鉄則	星　幸広 ‖ 著
かくして冥王星は降格された	ニール・ドグラース・タイソン ‖ 著
NHKますます気になることば	NHKアナウンス室 ‖ 編
無神経な人に傷つけられない88の方法	岩月　謙司 ‖ 著
資格の合否は「ノート」で決まる！	横溝　慎一郎 ‖ 著
世界にほこる私の国・観光立国ニッポン	観光立国教育研究会 ‖ 編
百歳検定。	中原　英臣 ‖ 著
ふりかけの本	宗像　伸子 ‖ 著
暮らしの中の和紙のかたち	福嶋　秀子 ‖ 著
冤罪	菅家　利和 ‖ 著
反骨心	清原　和博 ‖ 著
手編みのソックス	嶋田　俊之 ‖ 著
「おめでとう」「ありがとう」のポップアップカード	吉田　ちかこ ‖ 著

子どもの本

ノーベル賞がわかる事典	土肥　義治
のりもののしくみ見学　1	クリス・オックスレイド ‖ 著
雪だるまの雪子ちゃん	江国　香織 ‖ 著
ホットケーキできあがり！	エリック・カール ‖ 作
はっぱをつかまえて！	オーレ・クネッケ ‖ さく
ぬいぐるみだいすき	オフェリエ・テクシエ ‖ さく
あかちゃんにあえる日	キンバリー・ウィリス・ホルト ‖ 作
ベニーはおにいちゃん	バルブロ・リンドグレーン ‖ 文
母と子のおやすみまえの小さなお話365	千葉　幹夫 ‖ 編著
悪	石坂　啓 ‖ 作
まじょにはクッキーおとうとうさぎ！	ヨンナ・ビョルンシェーナ ‖ 作
うちの近所のいきものたち	いしもり　よしひこ ‖ 著
ゴインキョとチーズどろぼう	エミリー・ロッダ ‖ 作
まないたにりょうりをあげないこと	シゲタ　サヤカ ‖ 作・絵
チャレンジミッケ！　6	ウォルター・ウィック ‖ 作
うちゅうたまご	荒井　良二 ‖ 作　絵
知ろう！防ごう！インフルエンザ　1・2	田代　真人 ‖ 監修
ふしぎの国のアリス	メアリー・ブレア ‖ 画
絵本の国のぬいぐるみ	原　優子 ‖ 著
魔女の宅急便　その5・6	角野　栄子 ‖ 作
知りたがりやの芽キャベツ	天野　喜孝 ‖ 原作
しましまぐるぐる	かしわら　あきお ‖ え

郷土資料

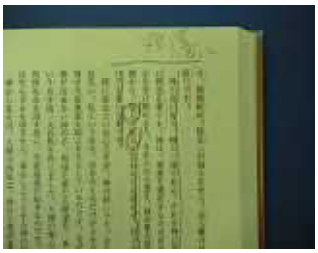
共同売店	宮城　能彦 ‖ 著
nicotavi沖縄	
「沖縄の海」海中大図鑑	伊藤　勝敏 ‖ 著
刑事課長の備忘録	石垣　栄一 ‖ 著
沖縄・宮城島の十二ヶ月	川上　宏 ‖ 著
から船往来	東アジア地域間交流研究会 ‖ 編
薩摩支配400年　琉球処分130年を問う	
さんかく山のマジルー	中江　裕司 ‖ 著
破顔百笑	まなか　一生 ‖ 著
沖縄・久米島から日本国家を読み解く	佐藤　優 ‖ 著
家族まるごとお祝い福マニュアル	比嘉　淳子 ‖ 編著
沖縄大好き検定　問題＆解説集　第1回	沖縄大好き検定委員会 ‖ 編
サンゴ礁のちむやみ	土屋　誠 ‖ 著

☆利用者の皆様へお願い☆
図書館の本を大切に扱いましょう！

☆ 近頃、図書館の本にマーカーや傍線が引かれていたり、飲み物をこぼして濡れてしまった汚損本や、ページが破かれていたり、ペットの噛み跡などがついた破損本が増えています。
新刊本でも落書きされて返却されてくるものもあり、図書館職員一同心を痛めています。

☆ 県立図書館の本は県民の大切な財産です。みんなが気持ちよく利用出来るように、丁寧な取り扱いを心がけるようにお願いします。

☆ **本の破損状態が酷い場合には、弁償していただく事になりますのでご注意下さい！**



（写真左）左ページが破り取られた絵本。
（写真右）落書き・傍線が引かれた新刊本。

沖縄なんでもQ＆A　NO.1　（郷土資料レファレンス事例）

Q. 首里城で正月に歌われた歌「ピーラルラー」が載っている本が見たい。

A. インターネットで検索すると、「路次楽」のこととある。
また、中国風管楽器又はその音も指すようだ。
さらに「ピーラルラー　路次楽　首里城」で検索。
九州沖縄サミットの特集ページ「首里城の正月」がヒット。
"・・・首里城の正月は、午前4時、「ピーラルラー」の囃子の入った路次楽で始まる。・・・"とある。
参考資料として『松山王子尚順遺稿』が挙げられていた。

当館の蔵書を検索。同書を所蔵していたので調べてみると、48頁「首里城のお正月」の項に、ピーラルラーについて記述あり。「クーマーヌー節」として歌詞も掲載されている。
同文は『松山御殿物語』（2002年　ボーダーインク）にも収められている。

図書館カレンダー

12 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※12/1～16特別整理期間のため閉館

1 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■印は休館日です。

利用案内

開館時間
平 日　午前9時～午後7時
土・日　午前9時～午後5時

休館日
毎週火曜日　祝祭日　慰霊の日
年末年始（12月28日～1月4日）
特別整理期間

貸出
・1人5冊、15日間
・求める本が貸出中の時は予約が出来ます。
・求める本が本館にない時は、他の図書館から取り寄せて借りる事ができます。
・電話で貸し出しの延長の手続きができます。

調査相談
資料に関する問合わせにお答えします。